

歳時記で季節を感じる集いの場

コンセプト

若物から高齢者など、様々な世代が利用する集会所。周辺のリニューアルに合わせて、たくさんの方が使いやすい、そして現代の人の季節を感じる場が必要だと考えました。季節を感じるものとして代表的なのは、種物ですが、それ以外に日本には着る季節ごとの様々な年中行事があります。正月・節分・桃の節句・花見・端午の節句・七夕などの日本全国で行われる行事や豊作を祝う地域特有の行事など様々なものがあります。このような行事をたくさん行える集会所を、これは「年中行事でたくさんの方が集まり、季節を感じる空間が出来るのでは」と感じ、この集会所の計画を行った。

歳時記(年時)とは四季の事物や年中行事などをまとめた書物のことである。江戸時代以降の日本では、これとして俳諧・俳句の季節を集めて、和歌・俳句・俳諧の解説と例句を加えた書物のこと。

- ①維持管理のしやすさ…高所作業車が必要になる樹木の配置の慎重な検討を行うなど、管理しやすいように。
- ②コストについて…建物の形をシンプルにするなど、出来る限りのコストカット。材料を安く丈夫な物を使い、メンテナンス等の削減。
- ③使いやすさについて…ユニバーサルデザイン、バリアフリーを導入、建物内の段差を出来る限り無くすように工夫。
- ④親しみやすいデザイン…木材を机、椅子、柵等にたくさん使用し、家のリビングの中に居るような空間を提供。
- ⑤環境への配慮…採光を天井に取り入れるように窓を設置。照明はすべてLEDにするなど、集会所で「しっかり省エネルギー」化をすすめていく。また、建物で使用される木材のほとんどを、大阪府内の山々の保護活動家の為に伐採された木材を使用し、山の保全にも参加の取り組みを協力していく。
- ⑥周辺の外構計画を活かした設計…新たに植えられる「刈込草」や様々な花が楽しめるように、ベンチ等を設置したり、隣接して新たに整備される広場を、今後様々なイベントや行事で集会所と共に活用出来るように、しっかりと工夫された計画とした。



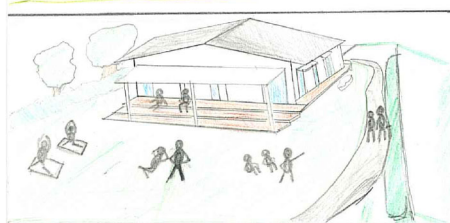
～廊下～

祭りの緑日の通りをイメージした廊下。各部屋へのアクセスの為にだけでなく、様々な事が行える新たな空間となっている。
8月…盆踊り 夏祭り



～和室の緑側～

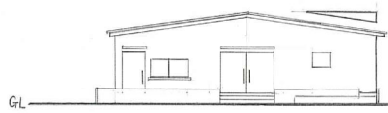
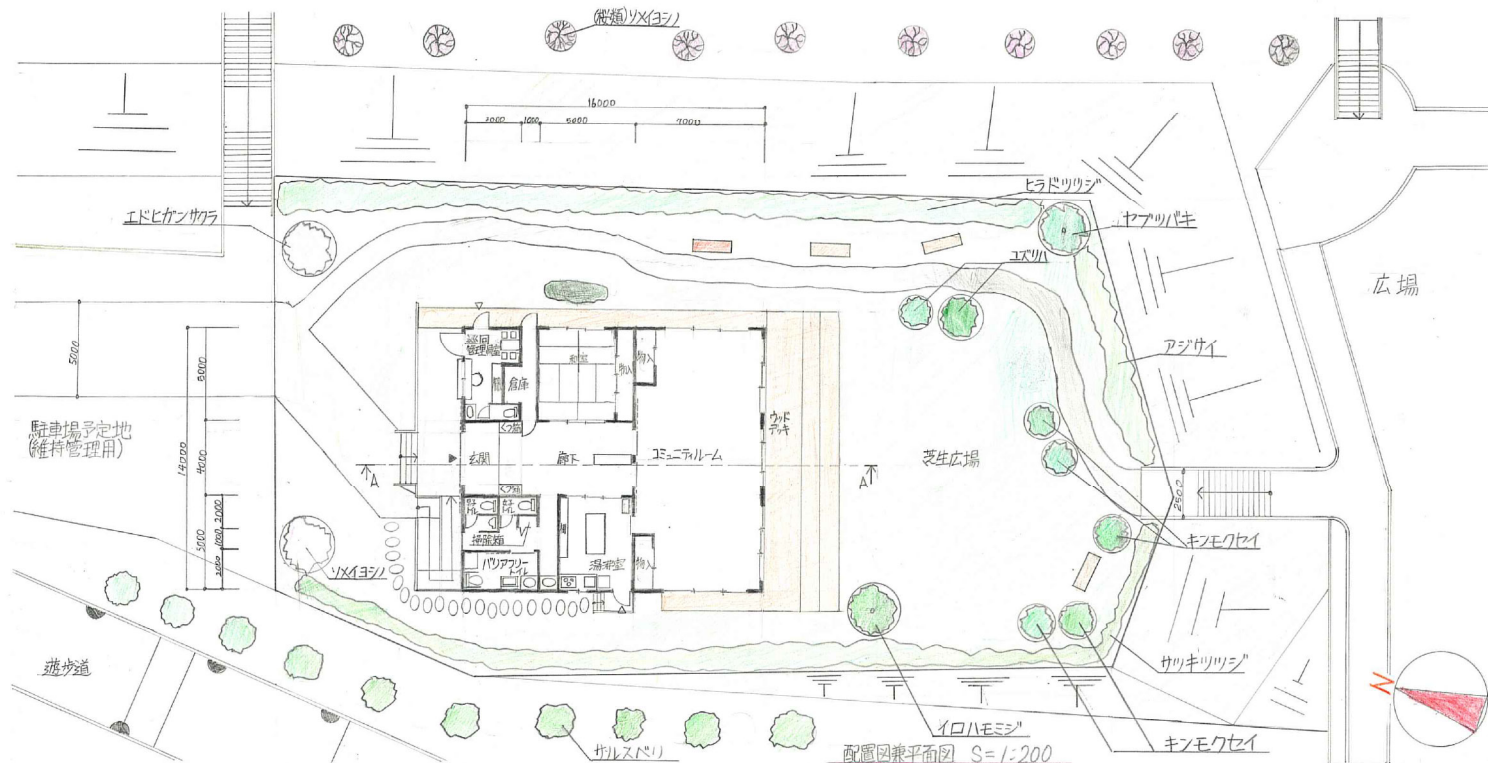
各部屋は季節に合わせて様々な方法で活用出来る。春は和室からキイチソメイヨシノが見え、腰かけわぐしとお茶会を開催も可能。
4月…花見 11月…俳句会



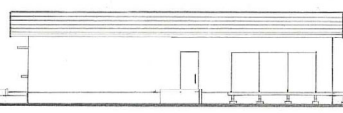
～芝生広場～

幅広のウッドデッキは舞台として活用出来、ここで行われているダンス教室の発表会などで活用出来る。また、階段になっただけの空間もあり、うまく活用すれば、様々な事が出来る。
8月…盆踊り 11月…もちつき大会

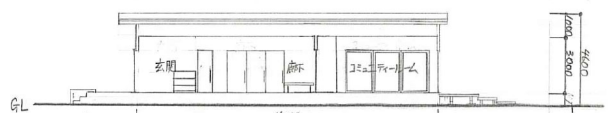
建築概要	
敷地面積	約1100㎡
建築面積	224㎡ (14m×16m)
床面積	224㎡ (14m×16m)
建ぺい率	20.36%
外壁仕上	セメントモルタル
屋根材	ガルバリウム鋼板
構造	木造 平屋



北立面図 S=1:200



西立面図 S=1:200



A-A断面図 S=1:200